

●農業用水路現況・測量調査の内容

1 実施範囲

都立農業高校神代農業南端出口から野川合流点までの約 2500m

2 調査内容

用水路状況（目視による破損箇所の確認）

平面測量、縦断測量及び横断測量

聞き取り調査

- ※ ・地元住民への聞き取り調査で、柏野小学校校庭下部から上流部からの水路が合流している可能性（点線）が判明している。これについては、令和8年度に追加調査予定。



～野川の状況～

第七中学校前



農業用水路合流地点





《令和7年度取得公有地を活用した地産地消の実証実験について》



1 土地の現況

- (1) 所在地 調布市佐須町4丁目40番地1 他5筆
- (2) 面積 1726.43㎡

所在地	面積（実測）
佐須町4丁目40番 1	312.33 ㎡
佐須町4丁目40番 2	282.25 ㎡
佐須町4丁目40番 3	315.43 ㎡
佐須町4丁目40番 4	254.48 ㎡
佐須町4丁目40番 5	266.24 ㎡
佐須町4丁目40番 6	295.70 ㎡
合 計	1726.43 ㎡

2 周辺環境

東及び北側は畑、西側は農業用水路、北西側には佐須神明宮の寺社林

3 取組内容

調布市深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画に基づき活用を推進します。

当該地は、長年耕作されていなかった土地であったことから、令和8年度は、土壌改良を図りつつ下記の取組に活用。

- (1) 農地のまま保全・活用することを基本
- (2) 次世代を担う子どもたちの農業体験と生物多様性への理解醸成の機会を提供
 - 当該地の東約50mに位置する佐須児童館の児童に耕作体験や農地に息づく動植物の視察の場として活用
- (3) 児童の保護者や市民向けに耕作体験の場や講習会の場として活用し、深大寺・佐須地域に広がる原風景の保全意識の醸成を図る

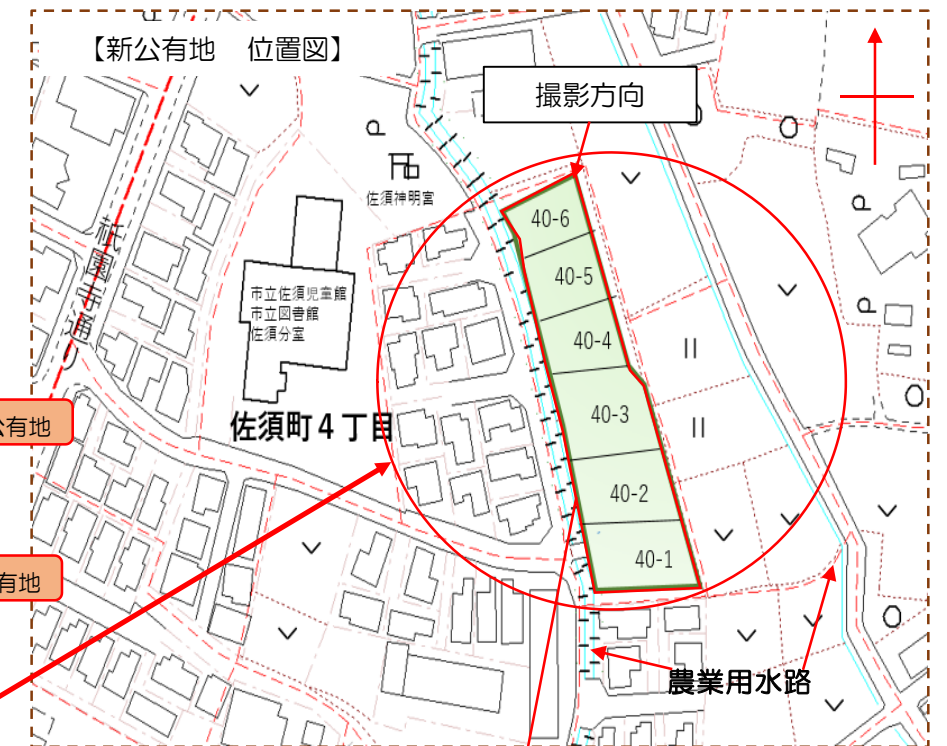
(4) 地産地消の実証実験の実施

栽培から収穫、製品化、販売を地域内で循環・完結する地産地消の実証実験の場として活用

- 現在、市と連携協定を提携しているホッピービバレッジ（株）及び地元農家で組織するチームと連携しホップによる実証実験を開始
- 令和8年4月17日（金）ホッピービバレッジから苗100株納品
- 4月18日（土）地元農家で作付け開始

議会（当初予算に係る建設委員会審査）

- ・地産地消の目的、ホップの栽培、ホッピービバレッジ（株）との連携について、委員から多くの発言があり、関心の高さがうかがえた。



【令和7年度取得公有地の現況】



製品化について

現在、収穫したホップで清涼飲料水（ホップ水）の生産を検討中。収穫量により生産品目を決める。

めざす地産地消のイメージ



【ホップ収穫の様子】
（農水省ホームページより）



【ホップの穂花（まりばな）】
（農水省ホームページより）

ホップ
蔓性の多年草。古くから薬草・ハーブとして用いられてきた。雌花の集まった穂花には、鎮静作用や不眠解消などの作用があることが大学の研究などで報告されている。